

平成21年4月7日

組織改正のお知らせ

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）では、平成21年4月7日（火）、本部組織の一部改正を実施いたしましたので、お知らせします。

1. 改正の目的

本部業務の整理・統合による組織のスリム化を図るとともに、組織機能の強化を図るため改正するものです。

2. 改正の内容

(1) 市場・事務部門

複数の部署に分散している営業店の事務管理機能を一元化し、スリムで機動的な本部体制を構築するため、預り資産の事務管理・集中業務・コンプライアンスを所管している市場管理部「投資商品管理室」を事務部に移管し、「投資商品管理グループ」として再編します。

市場管理部の外為・証券に関するバックオフィス（証券事務グループ及び国際事務グループ、外為センター）を市場金融部に移管し、同時に国際事務グループと外為センターを統合します。

預り資産のコンプライアンス・事務及び外為・証券に関するバックオフィスの他部署への移管に伴い、市場管理部は廃止します。

預り資産業務の移管により、事務部は融資業務を除いた営業店事務全般の統括管理を担うこととなることから、「事務統括部」に名称変更します。

事務統括部「集中事務委託グループ」及び「センター総務グループ」は同部「業務管理室」に統合します。

(2) システム部門

当行全体のシステムの最適化並びに分散系を含むシステムの統括管理態勢を強化するため、「システム企画室」を事務統括部から分離し、総合企画部付の「システム統括室」として再編します。

総合企画部「共同化推進室」のシステム関係業務を、「システム統括室」に一元化するとともに、じゅうだん会窓口業務を同部「経営政策室」に移管し、「共同化推進室」を廃止します。

(3) 経営企画・管理部門

財務報告に係る内部統制（J-SOX）の事務局をプロジェクトチームの形態から恒常的な組織とするため、総合企画部ALMグループを「ALMグループ」と「主計グループ」に分離し、「主計グループ」に内部統制事務局の分掌を新設します。

当行全体の物件費に係る管理機能をより強化するため、総合企画部「コスト管理室」を、物件費の決裁権限を持つ総務部へ移管し、同部総務グループと統合して「コスト管理グループ」として再編します。

東京事務所を総合企画部から分離し、東京支店付部署に移管します。

(4) 営業推進部門

本部スリム化のため、法人部「事業金融グループ」を「企画推進グループ」と統合するとともに、「ニュービジネス推進室」を「法人コンサルティング室」と統合します。

個人マーケティング部を、「個人部」に名称変更します。個人部「ローン管理室」を、「ローンサポートセンター」に名称変更します。

3. 実施日 平成21年4月7日（火）

以上

報道機関からのお問い合わせ先
総合企画部 当麻
TEL 048-641-6111（代）内線 2161